

お知らせ

INFORMATION

No.2025-06

2025年3月

病体生理研究所

アレルギー検査の判定基準変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目におきまして試薬製造販売元より、これまでの「疑陽性」の抗体価域を「陽性」とする試薬添付文書の改訂を行うとの連絡がございました。つきましては、当研究所においても判定基準の変更をさせていただきます。また併せてアレルギー検査報告書を改訂します。何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【変更となる項目】

- ◆ 特異的 IgE シングルアレルゲン (CAP)
- ◆ IgE (CAP) マルチアレルゲン

…検査案内掲載 P74~76

【判定方法の変更】

抗体価 (UA/mL)	クラス	新	旧
		判定	判定
0.34 以下	0	陰性	陰性
0.35~0.69	1	陽性	疑陽性
0.70~3.49	2		
3.50~17.49	3		
17.5~49.99	4		
50.0~99.99	5		
100 以上	6	陽性	

※ 抗体価によるクラス分類は変更ありません。

※ 「View アレルギー39」および「特異的 IgE Ara h2(ピーナッツ由来)」は対象外です。

《変更日》2025年4月1日(火)お届け分より

【アレルギー検査報告書の改訂について】

<おもて上段> (イメージ)

現	検査項目		結果値 U/mL	コメント	基準値	陰性		陽性					
	アレルギー名	クラス	結果値	コメント	基準値	陰性 (クラス0)	疑陽性 (クラス1)	陽性(クラス2~6)					
新	検査項目		結果値 U/mL	コメント	基準値	陰性		陽性					
	アレルギー名	クラス	結果値	コメント	基準値	陰性 0	←	1	2	3	4	5	→

<うら上段> (イメージ)

クラス判定の解説

現

- *クラス判定は0~6の7段階です。
- *クラス判定0は陰性、クラス1は疑陽性、クラス2~6は陽性となります。
- *クラスが高くなれば血中の特異的IgEの濃度が高いと言えますが、特異的IgEだけがアレルギーに関与している訳ではありません。そのため、クラスと臨床所見等と合わせて総合的に判定をお願いします。

クラス判定の解説

新

- *クラス判定は0~6の7段階です。クラス0は陰性、クラス1~6は陽性となります。
- 注：Viewアレルギー-39のクラス1、およびAra h2(ピーナッツ由来)の(±)は疑陽性の判定となります。
- *クラスが高くなれば血中の特異的IgEの濃度が高いと言えますが、特異的IgEだけがアレルギーに関与している訳ではありません。そのため、クラスと臨床所見等を合わせて総合的に判定をお願いします。

以上